

8月25日（日）13：00～上永谷駅前地域ケアプラザにて 「不安の正体」上映会&トークセッションが開催されました

この映画は障がい者グループホーム開所の際の反対運動の様子や障がい者の日常を、インタビューなどを交え静かに映していきます。当日は栗原区長を含め106名もの方々に出席いただくことができました。大きい会場を2つに分けて映画鑑賞の後、監督の「映画作成にかける思い」を伺い、また会場からの質問にも答えていただきました。

障害者施設の開所には地域住民とのトラブルが起こることが多く、地域住民の心にしこりを残したり、開所を諦めざるを得ないことも起こります。障がい者の犯罪率は健常者のそれより少ないにもかかわらず、テレビ等でクローズアップされがちで障がい者に対して「怖い」気持ちを持ってしまふことが少なくありません。この映画は「**前もって施設での日々の暮らし、障がいを持つ方々の様子や思い等を知っておくことで、すこしでも穏やかに話し合いができることを願う**」弁護士さんの発案で作成された物だそうです。今回も障がい者の方のインタビューや、暮らしの様子などを映像として見られたことで、講習会で説明を聞くのとはまた違った気づきを得ることができた方が多かったのではないかと思います。

飯田基晴監督との
トークセッション



会場を2つに分けて上映

